

未来探究祭 2026 応募要項

一般社団法人 次世代教育ネットワーキング機構が主催、株式会社 JTБ が運営する「未来探究祭」にお申し込みの学校は、下記内容を確認、同意の上、応募いただきますようお願いいたします。

【開催趣旨】

未来探究祭は、観光の視点から地域の魅力や課題を探究し、その学びの成果を発表する場です。

参加者には、地域を多角的に見つめ、データを活用して現状を分析するとともに、その地域ならではの強みや可能性を生かした観光の未来につながる提案を行っていただきます。

また、本大会は全国の仲間と成果を競い合うだけでなく、互いの研究や実践から学び合い、新たな視点や気づきを得る交流の機会でもあります。

探究を通じて得た学びや成果を広く共有し、ともに地域の未来を考え、次の一歩へとつなげていくことを目指します。

【参加資格】

「未来探究祭」に応募できる学校・生徒は 2026 年度に「未来探究ゼミナール」を実施し、その授業を受けられた生徒に限ります。

【応募にあたって】

- ・応募にあたっては当ホームページに記載の申込期間内に大会参加申込ページより、お申し込みください。
- ・成果物の提出締切日までは、一度登録されたエントリーシートの変更、差し替えが可能です。
- ・各ステージ（審査）にあたっては当ホームページに記載の締切日までに、所定のフォーム、形式、必要な事項、容量を遵守の上ご提出いただきます。
- ・1 チームは 2 名～7 名のメンバーで構成して下さい（1 名は不可）
- ・1 チーム 1 作品の応募となります。またチームごとにエントリーをしてください。
- ・参加資格のある生徒からの申し込みも可能ですが、先生のご了承を得ることが必須になります。

申込時には先生のお名前を必ずご記入いただき、連絡事項等が発生した場合は、申込代表者及び先生にお知らせします。

- ・「未来探究祭」お申し込み時にご登録いただいた個人情報は、一般社団法人 次世代教育ネットワーキング機構と株式会社 JTБ で共同利用いたします。両社のプライバシーポリシーに同意の上でお申し込みください。

<一般社団法人次世代教育ネットワーキング機構及び株式会社 JTБ のプライバシーポリシーについては大会参加申込ページに記載されています>

【応募作品（以下、成果物）について】

- ・成果物に掲載するデータおよび画像については、必ず出典・引用元を明記してください。
出典・引用元の記載がない作品は、減点対象となります。
- ・成果物に他者の著作物（写真・デザイン・音楽等）を利用する場合は、権利者の許諾を得た上で必ず引用元を明記してください。
詳しくは文化庁著作権課が発行している「学校における教育活動と著作権」をご確認ください。
https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/seidokaisetsu/pdf/93874501_01.pdf
- ・自ら撮影した写真等を利用する場合でも、被写体（人物・建築物等）の肖像権や知的財産権の侵害をしないようご注意ください。
当機構では権利侵害により発生するトラブルの責任を負いません。
- ・応募いただいた成果物に関しては、当機構および JTБ により「未来探究祭」「未来探究ゼミナール」の広報、告知、販売促進活動に利用することがあります。

【生成 AI の利用について】

本コンテストでは、生成 AI（例：ChatGPT、Gemini、Copilot などのテキスト生成 AI や Canva などの画像生成 AI など）の利用を認めています。利用にあたっては、以下のルールを守ってください。

- ・利用可能な範囲
情報収集・データ分析・図表の作成・アイデア検討・成果物の作成・文章作成・文章の推敲に AI を使うことができます。
AI を使用した場合は、使用した箇所をエントリーシートや成果物内に明記してください。また利用規約は厳守してください。
- ・生成 AI の使用有無は、審査には影響しません。
- ・生成 AI を情報の引用や出典元として使うことはできません。例：引用 ChatGPT→×
- ・生成 AI の内容を鵜呑みにせず、確かな情報源（本や公的機関のウェブサイトなど）を必ず確認してください。
- ・生成 AI の利用にあたっては、アニメなどの有名キャラクターにそっくりな画像や、他人の文章をそのままコピーして利用することは、著作権侵害に当たる可能性があります。

【応募にかかる費用】

参加資格のある学校、生徒は「未来探究祭」に無料で参加できますが、成果物の制作、オンライン参加時の通信費、Final STAGE 会場への交通費等は原則として応募者の負担となります。

- ・3rd STAGE 通過チームには交通費の補助があります。（詳細は別途お知らせいたします）

【各 STAGE のスケジュール】

ステージ	開催形式	実施内容	提出物	提出締切日	開催日・結果発表日
エントリー		申込ページへチーム毎の登録		2026年11月9日(月)	
1 st STAGE	書類	提出書類の審査	エントリーシート 成果物	2026年12月10日(木) 12:00	2026年12月16日(水) 30チームが2nd STAGEへ
2 nd STAGE	オンライン開催	他校生徒との交流・協働ワーク スキルアップ講座	参加同意書 肖像権同意書	2026年12月23日(水) 17:00	2027年1月16日(土) 参加チームが3rd STAGEへ
3 rd STAGE	動画	提出動画の審査	動画	2027年1月21日(木) 17:00	2027年2月2日(火) 10チームが最終審査へ
Another STAGE	オンライン開催	3 rd で敗退したチームによる オンラインプレゼンテーション	成果発表スライド	2027年2月5日(金) 17:00	2027年2月6日(土) 1チームが最終審査へ
Final STAGE	ハイブリット開催	出場チームによる プレゼンテーション	成果発表スライド	2027年2月24日(水) 13:00	2027年2月27日(土) 3チームが入賞

【各 STAGE の補足事項】

- ①同一校からの次の STAGE への進出チーム数には上限があります。
趣旨：できるだけ多くの学校に上位 STAGE を経験できる機会を提供する
 - ・1st STAGE への同一校からの参加チームは無制限
 - ・1st STAGE から 2nd STAGE への進出チームは同一校で最大 5 チームまで
 - ・3rd STAGE から Final STAGE への進出チームは同一校で最大 2 チームまで
- ②Another STAGE という復活 STAGE があります
趣旨：できるだけ多くのチームにプレゼン機会を提供する
 - ・3rd STAGE で Final STAGE 進出とならなかったチームが対象、オンラインプレゼン形式
 - ・原則として選出された 1 チームが Final STAGE へ出場することができます
 - ・選出方法はあらかじめご案内します
- ③Final STAGE は、青山学院大学渋谷キャンパス 17 号館・本多記念国際会議場です
[キャンパスマップ（青山）](#) | [青山学院大学](#)
- ④Final STAGE での、小物類を使用したプレゼン、審査員への資料類の配布について
 - ・舞台上で説明のための小物類や資料を使ったプレゼンテーションは可能です。
 - ・審査員への補足資料等の配布は認められません

【各 STAGE で必要な書類等】

各 STAGE においては、下記の通り提出物がありますが、所定のフォーム、形式、必要な事項、容量などが定められています。

	書式	ファイル形式	頁数	容量	制限時間	記載内容
1 st STAGE エントリーシート	指定書式利用	PDF	---	8MB 以内	---	シートに指定された各項目を 指定字数以内で記入
1 st STAGE 成果物	縦または横 サイズは任意	PDF	1 頁 または 8 頁以内 (注 1)	8MB 以内	---	エントリーシートの内容を文字、 画像、データを活用して表現
2 nd STAGE 事前課題シート	1 st STAGE 通過チームに改めてご案内いたします					
3 rd STAGE 動画	16:9 サイズ (注 2)	MP4	20 頁 以内	500MB 以内	4 分以上 (注 2) 5 分以内	エントリーシート、成果物の内容に 基づきスライド内容を説明する プレゼンテーション動画を撮影 (注 2) メンバーが発表する映像は必須
Another STAGE 成果発表スライド	16:9 サイズ	Power Point	20 頁 以内	20MB 以内	発表 5 分以内	発表内容をまとめたもの
Final STAGE 成果発表スライド	16:9 サイズ	Power Point	20 頁 以内	20MB 以内	発表 7 分以内 質疑応答 5 分目安	発表内容をまとめたもの

(注 1) 1st STAGE での成果物に関しては、ポスター型 (1 頁、サイズ・縦横不問)、プレゼンテーションスライド (8 頁以内) いずれも
提出可能とします。(提出様式の違いによる優劣はありません。)

(注 2) 3rd STAGE 今年より提出書式、制限時間、動画撮影方法に変更があります

【各 STAGE の審査規準】

・各 STAGE は以下の観点より審査します。

①地域課題の設定 ②データの活用 ③地域課題の解決 ④ICT 活用とデザイン ⑤引用出典の明確性 ⑥プレゼンテーション

・1st STAGE は、①②③⑤の観点をエントリーシート中心に審査し、④の観点を成果物中心に審査します。(⑥は審査対象外です)

・2nd STAGE は、全観点審査対象外です。(2nd STAGE 参加全チームが 3rd STAGE に進出します)

・各ステージを以下の項目と割合で審査します

審査観点 STAGE	1 st STAGE	2 nd STAGE	3 rd STAGE	Another STAGE	Final STAGE
	書類審査	オンライン交流	動画審査	オンラインプレゼン 審査	プレゼン審査
①地域課題の設定	◎ (20%)	審査はありません	◎ (20%)	後日案内	◎ (20%)
②データの活用	◎ (20%)		◎ (20%)		◎ (20%)
③地域課題の解決	◎ (20%)		◎ (20%)		◎ (20%)
④ICT 活用とデザイン	◎ (20%)		◎ (10%)		◎ (10%)
⑤引用出典の明確性	◎ (20%)		◎ (10%)		◎ (5%)
⑥プレゼンテーションスキル			◎ (20%)		◎ (25%)

注)「地域課題」とは、地域の魅力もしくは地域の問題を指します。

【オンライン参加に必要な Web 会議システム】

2nd STAGE、Another STAGE 及び FINAL STAGE（オンライン参加の場合）では ZOOM を利用いたします。

	使用 Web 会議システム	参加時の注意
2 nd STAGE	ZOOM	<u>チームメンバーが一人ずつログインしてください</u> ・映像は常時オン、音声は常時オフ（発言時のみオン）で参加ください ・同一教室内等で参加する場合はイヤホン等でご参加ください （端末のスピーカーをオンで参加するとハウリングが起こります） ・先生もログインしていただきますようお願いします
Another STAGE	ZOOM	<u>チームで一つのアカウントでログインしてください</u> ・映像は常時オン、音声は常時オフ（発言時のみオン）で参加ください ・チームメンバー全員が映り込むようにしてください ・先生は映り込まないようにしてください
Final STAGE （オンライン参加の場合）	ZOOM	<u>チームで一つのアカウントでログインしてください</u> ・映像は常時オン、音声は常時オフ（発言時のみオン）で参加ください ・チームメンバー全員が映り込むようにしてください ・先生は映り込まないようにしてください

【未来探究祭の審査ポイント動画について】

- ・6つの審査観点ごとにポイントをまとめた審査員による動画をご覧頂くことができます。視聴方法については後日案内メールを送ります。
エントリーシートや成果物のブラッシュアップの参考にしてください。（各動画 10 分程度）